

北陸新幹線 福井県内開業！20240316

ROBANEWS 最終号  
22年間 お世話になりました！！！！



●撮影：変集長  
20240313  
福井駅テラス

## ☆☆活動報告☆☆

2月24日  
県民社会貢献活動功労者表彰式  
3月1日  
えちぜん鉄道活性化連携協議会  
3月14日  
ROBA 例会・理事会

## ☆☆事業の予告☆☆

3月30日（土） NPO 法人 ROBA 解散総会  
新 ROBA 設立総会  
時間：10時～12時  
場所：福井市総合ボランティアセンター  
（ハピリン4F）  
総会終了後懇親会開催 時間：12時30分～14時  
場所：AOSSA 3F（ウエル AOSSA）

## 善光の一言 43

## お待ちかね 福井に新幹線！

福井から上野ゆき「急行 越前」がなくなって42年。今また“東京”へ乗り換えなしで行ける時代が来ます！♪パンパカパ～ン♪北陸新幹線が福井県にやってきます！50代以上？の人は、死ぬまでに乗れるか？・・・なんて言っていた“北回り新幹線”が北陸を貫きます！これを機に北陸にたくさんの方が訪れ、にぎわえばいいですね。

さて、もう一つ転機と言えば“ROBA”。会が大きく変わり、ROBAニュースも終わりとか。時代の流れではありますが、各地の団体で“少若高齢化”が進み、持続可能性が怪しくなってきました。そんな中、7年以上も「善光の一言」と「ぜんちゃんのもうでもいい話」を書かせてもらい、毎回楽しみにしているとお声も、いくつかいただきました。ご愛読いただき、ありがとうございました。ネタはまだまだたくさんあったのですが……。そして“変”集長の林照殿さん、長い間、大“変”お疲れ様でした。富山の“変”な人より。



令和 6 年 3 月 14 日

ROBA 会員各位

特定非営利活動法人心くい路面電車とまちづくりの会  
会長 内田佳次

## ROBANEWS 最終号発刊にあたって

ROBA 設立とともに産声を上げた ROBANEWS も 3 月発行で 266 号を数えます。残念ですが最終となります。創刊号は 2002 年 2 月 22 日。2 続きのなんとゴロの良い数字でしょう。ROBA の歴史は ROBANEWS を辿ればすべてが見えてきます。

確か、誰に発刊を強要されるわけでもなく、ROBANEWS というネーミングも揉めることなく自然発生的に決まりスタートしたと記憶しています。何事も始めるより終わり方が難しいと言いますが、2024 年 3 月 30 日 NPO 法人を解散するタイミングでいったん終了いたします。

ROBANEWS の編集長は林 照翁さんにずっとお世話になりました。途中から“編集長”から“変集長”に変わりましたが担当は変わりません。また、4 コマ漫画の担当は最初から漆崎耕次さんにおんぶにだっこ状態でした。毎回毎回ネタが大変だったと思います。漫画のタイトル名は「ガンバレみゆきちゃん」でスタートしましたが、すぐに「快速路面ライダー」になり、なぜか 171 号から「怪速路面ライダー」に変わっています。

また、コラム欄は美濃部雄人さんに「ゆうじんの部屋 書籍紹介」というコーナーを 168 号まで担当していただきました。すごい書籍情報量だと感心していました。少しかぶりますが、161 号から脇本幹雄さんの「Wacky 's 一押し CD」が始まり、音楽、ミュージシャンの紹介コーナーが誕生しました。終盤は善光 孝さんの「善光の一言」が加わり公共交通談議で花を咲かせました。

その他、数々の投稿や寄稿は多くの会員からいただきました。その時々タイムリーな出来事や、ROBA 事業の報告、社会問題、講演会、各種会議の報告等が積み重なり、これまで毎月発行ができました。多くの人の支えがあつての ROBANEWS です。22 年以上休むことなく連続毎月発行を続けた ROBANEWS。

私は自信をもって自慢できる ROBA の事業の一つだと思っています。

ありがとう ROBANEWS  
さようなら ROBANEWS

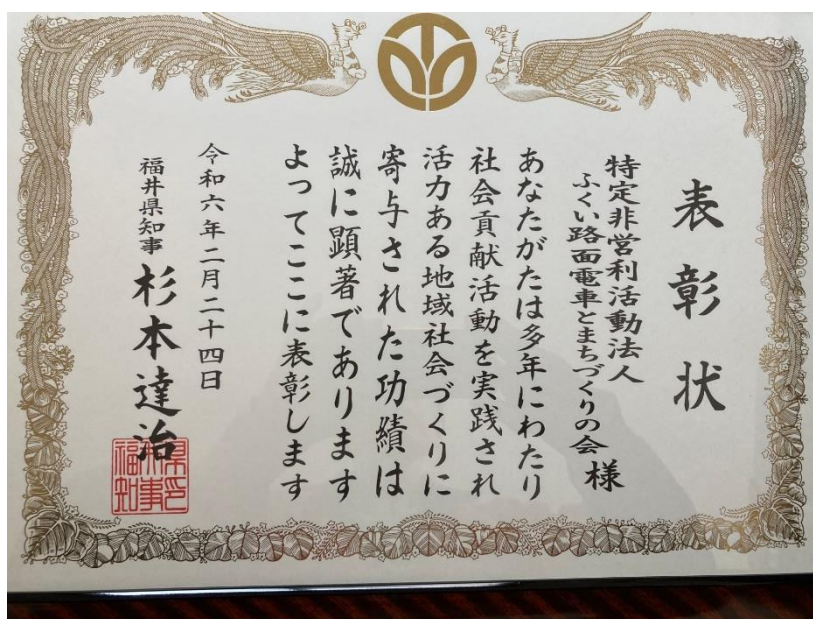
## 県民社会貢献活動功労者知事表彰受賞報告

令和6年2月24日、国際交流会館にて県民社会貢献功労者知事表彰の授賞式があり、内田が代表して授賞式典に参加しましたので報告いたします。この賞は福井県が社会貢献活動をしている個人・団体に対して毎年表彰をしているようです。令和5年度はROBAを含め10の個人・団体が表彰されました。

実は数か月前に福井市総合ボラセン担当者から、福井県に当該表彰の推薦をしましたという報告をいただいております。その後、決定の通知を正式に頂いた次第です。

これまで地道に社会貢献活動を続けてきたことが当該表彰に繋がったものと確信しています。

NPO 法人 ROBA 会長 内田佳次



# 全国バスマップサミット in 江戸川区に行ってきました 林 博

今回で第 20 回となる全国バスマップサミットに 2 月 3 日参加してきました。

先週の全国路面電車サミット宇都宮に続けて、久しぶりの連荘です。新小岩まで行くには、品川で乗り換えた方がいいようで、確かに乗換えやすくて便利でした。小岩より、新小岩の方がバスがたくさん来ていて、会場まではスムーズに行けました。

着いて早速バスマップサミット実行委員会の総会というか連絡会議、会の運営やメンバー構成など話しましたが、次回のサミットは、福井でやることになりましたので、皆さんよろしくお祈りします。

その後すぐにパネル展示と慌ただしい。20 年前の初版から最新の第 20 版までのバックナンバーをすべてそろえたセット。これは、今回販売できないので、次回福井へお越しくださいと宣伝しておきました。皆さんにも総会で配ろうかなと思っています。また、初版、第 2 版、第 3 版を広げて貼りだしました。これは、好評で何人も足を止めて説明をきいてくれました。



実行委員会の様子



のりのりマップの展示の様子



サミット講演会の様子



サミット懇親会の様子

サミット講演会は、より良いバスマップを作るための大元となる、使いやすいバス交通体系にするために、バスの基幹軸をどう作るかということ江戸川区で進めてきたことの紹介が中心でした。

現在、WEB 会議では「バスマップハンドブック」の作成作業を毎週実施していますので、完成したらそれぞれの公表と、マップの活用の仕方についてがテーマになるのかもしれませんが。福井のサミットでは何をテーマにするか、皆さんもいっしょに考えましょう！

以上

## 全国路面電車サミット宇都宮に行ってきました

林 博

宇都宮には、工事中に一度訪れたことがありましたが、完成してからは初めてなので楽しみでした。ダイヤ鉄?の私としては、どういうルートでどう安く切符を買っていくのかも楽しみのひとつで、今回は一番安上がりな、ぐるっと一周コースにすることにしました。一番早いのが北回りの新幹線乗り継ぎですが最も高く、3月16日の敦賀延伸ではもっと早くなりかつ高くなります。一番安いのが南回り東京往復割引に東京宇都宮快速往復をプラスするのですが、時間がかかります。そこで、JRの距離が長くなるほど割安になる運賃制度を利用して、ぐるっと一周して途中から大宮宇都宮間はSuicaを使って快速往復、行きはのんびり南回り、帰りは早く北回りという行程にしました。

前々日の1/26 LRT都市サミットに初めて参加しましたが、サミットといいながら市長の参加が宇都宮市だけ、福井市は担当者すら参加していないというのが、とても残念でした。翌日は試乗会や車庫見学会にも参加し、「ベル」にも行ってきました。また、翌々日のサミット宣言には福井は「既存の路面電車をLRTレベルに高めた都市」の一つとして評価してもらっていました。

### 第16回全国路面電車サミット2024 宇都宮 サミット宣言(案)

1993年に札幌で始まった全国路面電車サミットも、今回で16回目を迎えました。全国からの参加者の皆様に、新設のLRT「ライトライン」が走る宇都宮にお越し頂き、LRTが変えた街の様子をご覧くださいことができました。

さて、札幌での第1回開催時には、世界でLRTを新設していた都市は40か所程度でした。約30年を経て、国内で75年ぶりの軌道の新設都市となる宇都宮は、世界では214都市目の新設LRTとなります。

交通まちづくりの軸となるLRT導入が、日本においてここまで遅れたのは、大都市圏で我が国の公共交通が民営中心で成り立って来ている、世界的にも希少な事例があり、その一方で高度成長期以降、自動車工業が成長産業として国家の成長を担い、爆発的な自動車利用の拡大を招いた副作用ともいえます。

討議の中でも、LRTを整備するどころか、バスさえも減便が進み、都市公共交通の計画や投資自体が停滞していることが、指摘されています。コロナ禍でますます進みつつある公共交通のサービスレベルの低下が、さらなる地方都市の衰退を招く恐れもあります。

その一方で、新交通軸の形成に30年もの時間をかけた宇都宮の苦闘の歴史が、市民団体からも語られました。路面電車・LRTは都市計画に基づいた道路事業の一環でもあり、行政や警察、市民の広範な合意を必要としながら、「軌道に乗せる」という経験を積みました。街の姿が大きく変わり、「LRTのある宇都宮うらやましい」との報道もある今、公共交通に投資するというこれからのまちづくりの一つの方向性を示しています。LRTを含む都市公共交通への投資こそが、渋滞解消、市街地の活性化、定住促進などの都市機能の向上、ひいては国力の向上、カーボンニュートラルに繋がると、私たちは宇都宮の例から改めて実感しています。

宇都宮だけでなく、コンパクトシティ政策を進めている富山、従来の路面電車や地方鉄道を改善してLRTレベルに高めた広島や福井、熊本なども含めた各地の取組みを、全国に伝えていくことが、日本全体にとっても有益だと、私たちは考えます。

路面電車サミットの開催を機に宇都宮に集った私たちは、人口減が進む全国の地方都市において、公共交通を活かした持続可能なまちづくりを進めるため、医療・福祉・教育・環境など様々なセクターとの関連性を踏まえ、財源・法制度の確立に向け、今後も各地で活動を続けて行きます。

2024年1月28日

全国路面電車サミット2024 宇都宮 参加者一同

## 照ちゃんの気になる風景 最終章

朝日新聞に連載されている「折々のことば 鷲田清一」を読むと「ことば」の持つ力を再認識できる。折につけ思い出すコトバを紹介します。それでは皆さんお元気で！又どこかでお会いしましょう！

2015. 5. 10 「**見えてはいるが、誰も見ていないものを見えるようにするのが、詩だ。**」長田弘

\* 1時間の演説より3分間の歌や詩を！

2015. 5. 12 「**子どもを不幸にするいちばん確実な方法はなにか（略）それはいつでもなんでも手に入れられるようにしてやることだ**」ルソー

\* いつでもどこでも行ける車という移動手段はとても便利だ。電車を待つ、バスを待つ人が来るのを待つ、待つという時間が我慢できない子ども大人ばかりになった社会は……。待つという時間を幸せに感じられる社会にしたいものだ。

2015. 6. 26 「**人と違うことをして目立つのは誰でもできる。人と同じことをして秀でなさい。**」

西靖の父

\* 毎日放送のアナウンサーの西が幼い日に父から何度も言い聞かされたことば。このコトバと出会ったときには身体が震えた。

2017. 11. 16 「**人間は決してあのように死んではならない**」石原吉郎

2028. 4. 24 「**一人の思想は、一人の幅で迎えられることを浴する。不特定多数への語りかけは、すでに思想ではない**」石原吉郎

\* シベリアの強制収容所での経験は詩人の石原に多大な影響を与えたと推測する。知り合いの詩人〇橋氏（福井市）は東京時代に石原氏から教えを受けた。

2018. 5. 1 「**咳をしても一人**」尾崎放哉

\* エリートコース人生から外れ最後は小豆島で亡くなった。この句の底知れぬ孤独に勇気づけられた人も多いと聞く。私もその一人。

2018. 9. 6 「**足並みそろろうと全滅しちゃうので**」稲垣栄洋

\* 戦争時代のことを言っているかと思いきや、開花の時期をずらしたり、背丈を違えたり、植物はつねに多様性を広げようとする雑草学者は説く。

2018. 1. 23 「**作文の秘訣を一言でいえば、自分にしか書けないことを、だれにでもわかる文章で書くということだけなんです**」井上ひさし

\* 「むずかしいことをやさしく、やさしいことを深く、深いことを面白く」とも言った。

2023. 9. 10 「**国民的熱狂をつくってはいけない**」半藤一利

\* 時代の勢いに押し流され、自らもその動力の一端となって、戦争への堰を踏み潰していったと、作家は語る。「人と同じものを食べるな！人と同じものを着るな！人と同じコトバをしゃべるな！戦争がいやなら（中津川フォークジャンボリーのチラシヨリ）」

影響を受けた……

●音楽：細野晴臣、大滝詠一、高石ともや、笠木透、キングクリムゾン

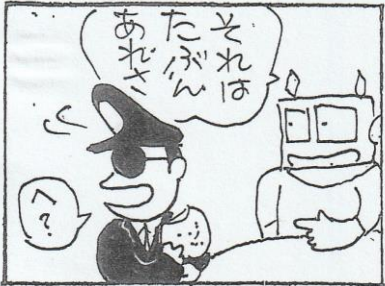
●映画監督：アキ・カウリスマキ（フィンランド）

●映画：裸の島（新藤兼人）西鶴一代女（溝口健二）少年（大島渚）競輪上人行状記（西村昭五郎）博士の異常な愛情（スタンリー・キューブリック）

●人物：むのたけじ「決断は、準備の充実から噴き出すものである」詞集たいまつより

松下竜一（その昔、友人とはるばると会いに行ったことがある。ミニコミ誌「草の根通信」はたくさんの読者に愛された）

# 怪速! 路面ライダー by.うろし哲



作/漆寄 耕次

## がんばれ福井鉄道

No.18 岸本 雅行

いよいよ北陸新幹線県内開業が間近に迫ってきました。福井鉄道は開業日にダイヤ改正を行う予定です。昨年10月、運転士不足などを理由に福武線の運行本数を約2割減らすダイヤ改正を実施、今回の改正で元のダイヤに戻れることを期待していましたが、たった5本の増発にとどまりました。しかし、新幹線との接続を考慮した列車を増発するなど改善は見られます。ただ、えちぜん鉄道との相互乗り入れが行われていた昼間の急行は復活せず、えちぜん鉄道から福武線向け新方面への利便性が低下したままです。次のダイヤ改正では、さらなる改善を望みます。

さて、NHK大河ドラマ「光る君へ」にちなんだラッピング車両が2月初旬から運行を開始しました。フクラム第4編成(サクラ色)の車体の両側に、主役の吉高由里子さん演じる紫式部が華やかに描かれています。12月末まで毎日8本ほど運行されるそうです。紫式部が一時期、越前市で暮らしていたということは、県外の方には意外と知られていないようです。NHKの放映を機に、多くの方々に越前の国府が置かれた越前市の歴史にも関心を持っていただき、北陸新幹線で訪れた観光客にもこの車両に乗車して平安時代を偲んでもらいたいものです。

北陸新幹線開業日には、並行在来線「ハピラインふくい」がスタートし、福井鉄道にとっては大きなライバルとなりそうです。お互いが競い合うことにより両鉄道が共に発展するように応援したいと思います。



\*紫式部がラッピングされたフクラム(家久駅)

編集後記・・・編集委員より一言

内田(発行責任者)

「NPO法人ROBAは3月30日をもちまして解散します。

併せてROBANEWSも今月号をもちまして終了いたします。みなさんご協力ありがとうございました。」

林(変集長)

「変集長のあとは終活の準備に入る予定・・・。  
又、どこかでお会いしましょう!お元気で!」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL:0776-25-7968

e-mail: [roba@mbh.nifty.com](mailto:roba@mbh.nifty.com)